

概 況

令和7年12月に発生した事故についてお知らせします。

★工事関係者等事故（死亡0件、傷害2件）

- ・ 傷害事故が2件発生しました。事故になる前にみんなで安全確保を行いましょう。
- ・ 擁壁型枠の組立作業中、作業員が型枠に設置されている鉄筋に接触し手首付近に裂傷を負った。
- ・ クローラクレーンを使用した荷卸し作業中、吊り荷と荷を置く台との間に人差し指を挟んでしまった。

★公衆事故（死亡0件、傷害0件、物損2件）

- ・ 物損事故が2件発生しました。ちょっとした油断が事故につながります。
- ・ 草刈機作業時に飛散防止対策を途中から行わず、通過車両に飛び石が当たってしまった。
- ・ バックホウのアームにより、河川上空を横断していた民間の有線ケーブルを切断してしまった。

～ 「ちょっとした工夫」で、安全な現場環境づくりの推進をお願いします！ ～

今回は「機械・器具の接触防止」を紹介します



安全確保のLEDテープライト

特に注意箇所は赤ライト

暗い作業環境での足場を利用した仮設照明の工夫

好事例は引き続き紹介します。アイデア募集中！

A-pressについて

『A』は、ずばり安全（Anzen）の“A”
『A』は、アルファベットの最初の文字
工事等に当たり、安全は最も優先されます。
安全意識の向上と情報共有のために、
工事等の受発注者に毎月発信していきます。

～ ヒヤリ・ハット事例 ～ (事故には至らなかったがヒヤリ、ハツとした事例)

- 1 長尺の資材を運んでいて、足元が見えずにつまずきかけた。
- 2 脚立から床を見ずに降りたら、自分が置いた工具に足を取られた。
- 3 足場の階段に霜が降ったことを見落とし、階段を登ろうとし足を滑らせ階段から滑り落ちそうになった。

日常生活でもあるある、足元見ずのケガ、現場では大ごとに

～ 安全ひろば ～ 便利なものだけに、ご安全に

クレーン付トラック(ユニック車)は便利なものだから、うっかり事故も多い

資格・届出	： 吊り上げ荷重により免許・資格・届出が必要 1トン未満でも移動式クレーン運転特別教育
積載量	： 道路交通法、貨物自動車運送事業法など
吊上げ荷重	： 荷物を吊上げられる重さ（定格荷重） ブームの段数によっても定格荷重は変わります。
アウトリガー	： 重心移動、荷重に耐えるための重要機能 地面の状態確認、アウトリガー張り出し確認
ブーム	： ブーム格納忘れによる架空線・建物接触、 作業員が吊り荷の下に入ったことによる挟まれ・落下など 関連事故が多く発生しています。



安全確保には、アウトリガーの張り出し、定格荷重の厳守、荷の下に立たない、
ゆっくりとした操作、安全装置の確認などが重要です。

資格取得（特別教育）と日常点検を徹底することが事故防止の鍵となります。